

スープメーカー

DSMW-148CB

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
正しい使いかた	P. 5～8
お手入れと保存	P. 8～9
修理・サービスを依頼する前に	P.10～11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	DSMW-148CB
電 源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	400W (ヒーター使用時)
定格時間	10分 (スムージーモード) ※ 3回まで
調理容量	約 0.9L (最大) / 約 0.5L (最小)
外形寸法	約 幅 200 × 奥行き 160 × 高さ 290mm
質 量	約 2.2kg (フタをのぞく)
電源コード長さ	約 1.6 m
安全装置	ふきこぼれ防止センサー、空だき防止センサー、脱着センサー
付属品	おそうじブラシ × 1、フタ × 1、レシピ × 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意








- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)






図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

	交流 100 V以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。		電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 また、電源プラグの抜き差しで運転の開始・停止を行わない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	 指示	配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
 禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 使用禁止	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 分解禁止	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 ぬれ手禁止	お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	運転中に本体をポットからはずしたり、移動させたりしない。 けが、やけど、故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤサービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 感電・火災の原因になります。		ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	不安定なところでは使用はしない。 けが・やけど・故障の原因になります。		本体上部を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 水洗いしない 感電・ショートの原因になります。

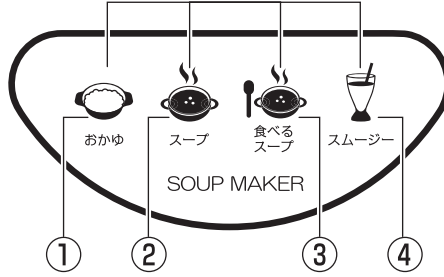
⚠ 注意

 接触禁止	ブレードには直接触れない。 けがの原因となります。		ポットに調理前・調理後の食材を入れたままにしない。 食材を長い時間放置すると、成分の腐敗や変質の原因になります
 禁止	加熱調理をしたあと、続けて加熱調理を行わない。 再加熱により、こげや発火の原因となります。	 禁止	食材以外をポットに入れない。 けが・故障の原因になります。
	直射日光が当たる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形、故障の原因になります。		ポットに直接糖類を入れて加熱調理しない。 ポット、ブレード、ヒーター、空だき防止センサーなどのこげつきの原因となります。
	変形や破損のあるときは、使用しない 感電や火災、やけどの原因になります。	加熱調理中、加熱調理終了後しばらくは、ポットに触れない。 やけどの原因になります。	
	電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災や感電、やけどの原因になります。	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	
 禁止	電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない、使わない。 転倒して外部に調理物がこぼれるだけでなく、感電、故障・火災・やけどの原因になります。		必ず取っ手を使って持ち運ぶ。 取っ手を使うと、安全に安定して持ち運ぶことができます。
	業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。		食材は葉もの3cm幅、固形物1cm角以下にする。 これより大きいと十分な調理ができず、ふきこぼれや大きな音の発生の原因になります

各部の名称とはたらき

操作パネル

メニューボタン ボタン中央部が点灯（点滅）します



- ① おかゆボタン
- ② スープボタン
- ③ 食べるスープボタン
- ④ スムージーボタン

本体

《本体》取っ手
本体を持つときは
必ずここを持ちます

操作パネル

脱着センサー

ふきこぼれ防止センサー

空だき防止センサー

ヒーター

ブレード

本体上部

水洗いできません
水がかからないように
ご注意ください

本体下部

水洗いできます

ポット内部

食材を入れる目
安となる水位線
があります

ここまで
ここから

ポット

注ぎ口
ここからおたまなど
使わずに調理物を出す
ことができます

(ポットの突起部分)
脱着センサーの溝に
セットします

《ポット》取っ手
ポットを持つときは
必ずここを持ちます

電源プラグ

電源コード

付属品

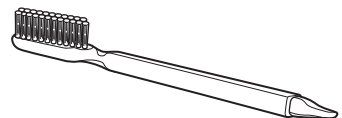
フタ

本体をはずしたポットに
取り付けて使用します。



おそうじブラシ

ブレードなど安全に洗浄します



正しい使いかた

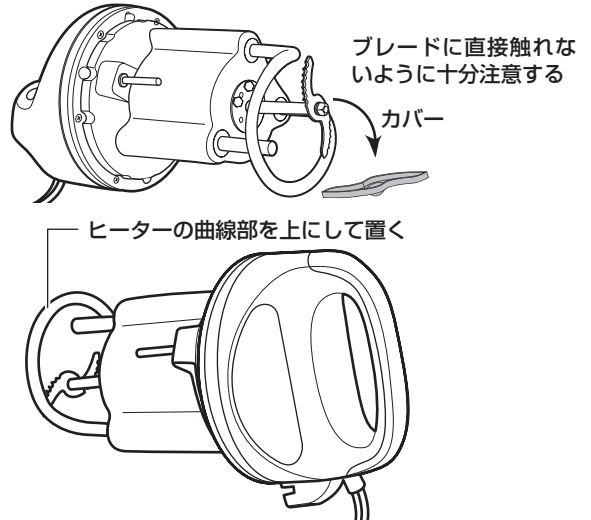
※ ブレードにセットしているカバーをとりはずしてから使用を開始してください。
ブレードには直接触れないようにして、けがしないように十分注意してください。

※ お買い上げ後、初めて使用するときは、ポット・本体下部を十分に洗ってから使用してください。
(8～9ページの「お手入れと保存」に従って行ってください。)

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。
「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」を調理するときは、熱を発するため、熱に強い素材でできたテーブルなどの上に設置してください。
・必ずポットの取っ手を持って移動させてください。



⚠注意

- ・移動させるときは、必ず取っ手を持つ。
- ・水平で安定した場所で使用する。
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。
- ・ポットに本体をセットするまでは電源プラグをコンセントに差し込まない。

2. ポットから本体を取りはずす

片手でポットの取っ手を押さえ、もう片方の手で本体の取っ手を中心に見て中心から右へ回転させ、取りはずします。
・取りはずした本体はブレードに十分注意して右図のようにヒーター部が地に着くように置いてください。

調理しにくい材料

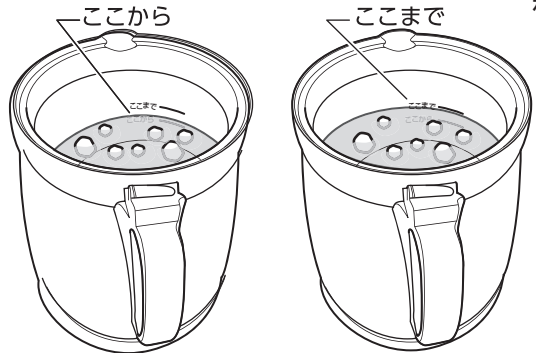
以下の材料は、ヒーターやブレードにからまったりして、調理を中断させてしまいます。異常振動や飛び出ししたりすることがあります。本製品と別に調理して最後に一緒にするなど工夫が必要です。

- ・キムチなどのつけもの
- ・長いままのワカメなど
- ・コンニャクなど弾力のあるもの
- ・ブロックのままの肉類、長いままのベーコンなど

3. ポットに食材を入れる

ポットに食材を入れてください。
・葉ものは3cm幅以下・固形物は1cm角以下に切ります。
・液体と固体の量は、ポット内部にある水位線を見て、「ここから」線以上、「ここまで」線以下の量を入れるようにしてください。

「ここから」線より多く食材を入れる 「ここまで」線を超えないように食材を入れる

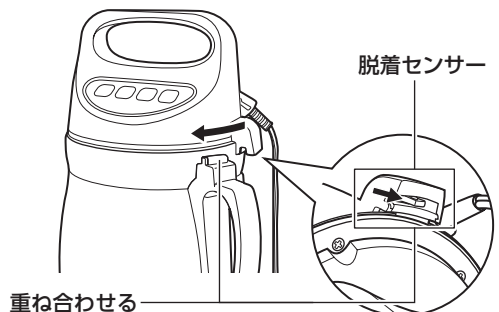


⚠注意

食材を入れるときは、必ず「ここから」線以上、「ここまで」線以下の量にする。
食材の量が多すぎると食材がポットから飛び出し、やけどや事故の原因になります。少なすぎると十分な動作がされません。

4. ポットに本体をセットする

ポットの突起部分に本体の脱着センサーを、本体を（取っ手を中心に見て右から左へ）回転させて重ね合わせます。
・確実にセットしないと、安全装置がはたらき、動作が開始しません。
・固形物が多くセットしにくいときは、固形物の配置や量を減らしたり、食材の大きさを小さくすることで調整します。
・食材を入れてポットに本体がセットできないときは、本体を左右に動かしながらセットしてください。



正しい使いかた（つづき）

調理のしかた

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ピッとブザー音がして、操作パネル上のメニューボタンが点滅を始めます。
- ブザー音が鳴り止まないときは、本体の空き防止センサーが反応しています。ポット内の液体の量が「ここから」線より多くなるように、また「ここまで」線を超えないよう、食材の入れかたを工夫してみてください。

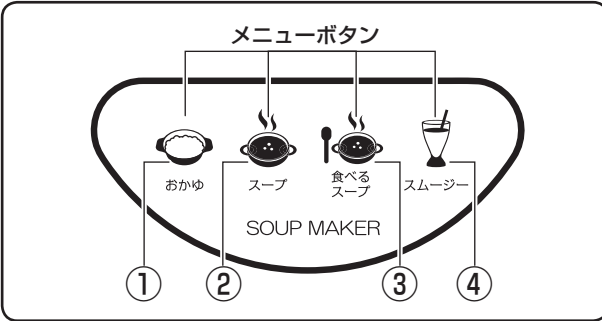
2. ボタンを押して調理を開始する

作りたいメニューに合ったボタンを押すとピッとブザー音がして押したボタンのメニューランプが点灯し、調理が開始されます（もう一度同じボタンを長押しすると調理がキャンセルされます）。

- 調理開始時に調理内容によって、本体が飛び出たりすることもあるので、十分に注意してください。「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理内容によってそれぞれ加熱、かかはんを繰り返します。
- 「スムージー」は7回かかはんします。
- かかはんのときは大きな音がします。
- 動作中はメニューによってカチカチと音がします。
- 調理を中止したいときは、選択しているメニューボタンを長押ししてください。
- 調理中、ポットの内部を確認するのに本体をポットから取りはずした場合は、3分以内に本体をポットに戻せば、取りはずした時点からの調理を開始します。



- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱、発火の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。



調理内容

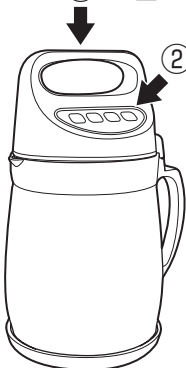
ボタン	調理運転	調理内容	かかはん程度	目安
① おかゆ	加熱・かかはん	おかゆをつくります	少	約35分
② スープ	加熱・かかはん	固形物を細かくかかはんします	中	約25分
③ 食べるスープ	加熱・かかはん	固形物が細かくなならない程度にかかはんします	少	約25分
④ スムージー	かかはんのみ	温める必要のないものを適度にかかはんします	多	7回かかはん

※①「おかゆ」、②「スープ」、③「食べるスープ」は調理内容によってそれぞれ加熱、かかはんを繰り返します。調理する内容物、動作させる環境により調理時間が変化します。④「スムージー」は7回かかはんします。

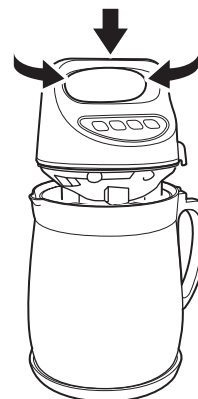
④スムージーボタンを押すときには、初動の際に震動で本体がポットからはずれる恐れがあるため本体を上から押さえてスタートさせてください。

食材を入れてポットに本体がセットできないときは、本体を左右に動かしながらセットしてください。

① 1. 上から押さえる



② 2. スムージーボタンを押す



左右に動かしながらセットする



- 調理するとき大きな音がするので環境に気をつける。
素材や環境にもよりますが、調理するときには大きな音がしますので、まわりに十分配慮してください。
- ①おかゆ、②スープ、③食べるスープ ボタン(加熱調理ボタン)を押したとき
- 調理中・調理直後、ポットの注ぎ口からもれ出る蒸気に注意する。
やけどの原因になります
- 調理中・調理直後、ポットは熱くなっているので、取っ手以外は触れない。

3. 調理が終了すると、ブザー音が鳴り、メニューランプが点滅する

スムージーがうまくできないときは、

- 一度電源プラグをコンセントから抜く。
- ポット内の食材の配置などを工夫する。
- 再度電源プラグを差し込む。
- ピッとブザー音がして操作パネル上のメニューランプが点滅したのを確認する。
- ④スムージーボタンを押し再運転させる。
※スムージーモードの連続運転は、10分(3回まで)にしてください。



「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理後に再度メニューボタンを押さない。
再加熱でこげや発煙、発火の原因となります。

4. 電源プラグをコンセントから抜く

5. 本体を取りはずし、調理したものを器に移す



調理したものを取り出すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

本体を取りはずして、調理したものを器に移します。

加熱調理後のヒーターは熱くなっているので熱に強い陶器の皿などに曲線部を上に向けて置く。

- 調理終了後、調理したものは、注ぎ口から、またはおたまなどを使って、すべて器に移します。
- 一時的に本体を取りはずして付属のフタを取り付け、保存することができます。

※調理物を長い時間放置すると、成分の腐敗や変質の原因になりますので、できるだけ早くお召し上がりください。

※①おかゆ、②スープ、③食べるスープボタンで調理したときは、調理後の本体とポットは大変熱くなっていますので、十分に気をつけてください。

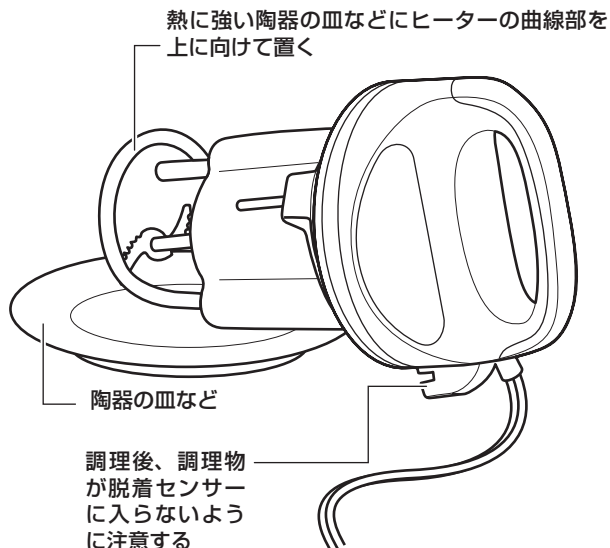
- 連続して調理するときには30分以上、間隔を空けてから調理をしてください。



- 調理後の本体下部は熱くなっています。
お手入れする前に冷めるまでお待ちください。
- ①おかゆ、②スープ、③食べるスープ ボタンは調理後に再度メニューボタンを押さない。
再加熱でこげや発煙、発火の原因となります。

調理中に発生する現象と対応のしかた

- ポットにしっかりとセットされていないため停止する
食材が大きい、もしくは食材が多い可能性があります。大きさを量を適正なものに調整してください。
- ブザー音がピーピー鳴り止まない
食材が「ここから」線より少ないか、「ここまで」水位を超えているときも鳴ります。食材によっては「ここから」線よりも多く入れていても反応することがあります。食材を多くするか、食材の入れかた、水分の追加などを工夫してみてください。
- 調理中ポットから本体を取りはずしたまま3分以上経過してしまった
動作が初期状態(メニューボタンが点滅を始めます)に戻るため、①おかゆ、②スープ、③食べるスープボタンを再度押すと、再加熱でこげや発煙、発火の原因になりますので、おやめください。
- ④スムージーモードで再運転を行なった
調理物をかくはんするとき、かくはんの回数が増えると、熱が発生し、スムージーが温まることがあります。



▶▶つぎのページにつづく▶▶

正しい使いかた（つづき）

⚠️ 注意

- 続けて調理をするときは、30分以上間隔をあける。モーター部分が熱を持つため、冷却する時間が必要です。連続運転すると故障の原因になります。
- ポットに調理物を長い時間放置しないでください。そのままにしておくと、成分の腐敗や、さびたり、こびりつきや汚れの原因になります。
- 本体のヒーター・ブレードを下にして立てて置いたりしない。
- 調理終了後のお手入れの際は、熱に十分気をつける。

お手入れと保存

⚠️ 警告

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ポット・本体が冷めたことを確認する。感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは絶対に使わないでください。
- 本体上部に水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）
- ブレードの扱いには十分気をつけてください。
- 使用後はなるべく早めにお手入れをしてください。材料の色素が付着したり、汚れが乾いてしまうと、固まって取れにくくなります。

1. 本体をポットからはずす

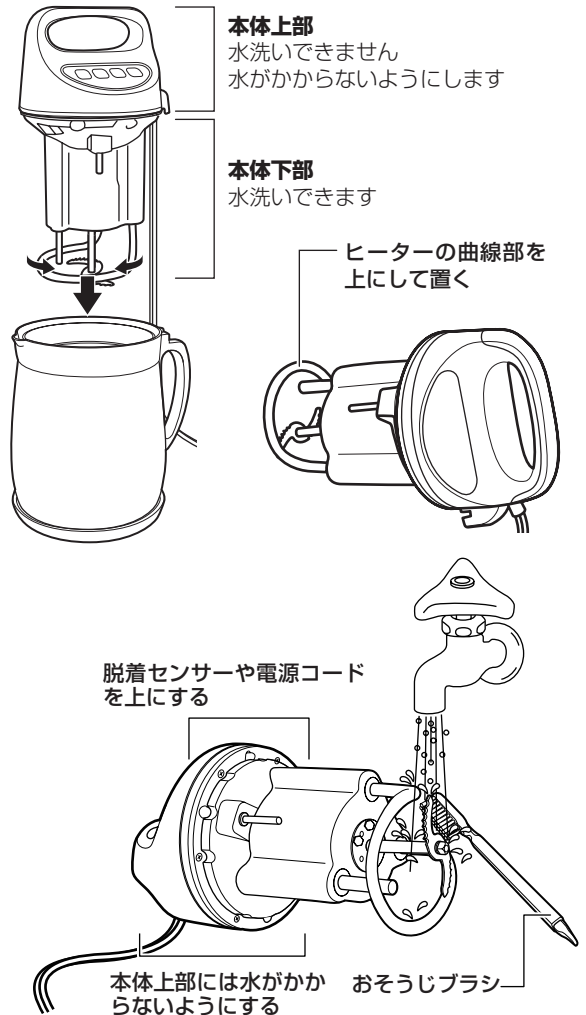
片手でポットを押さえ、もう片方の手で本体を回転させ取りはずします。

※取りはずした本体はブレードに十分注意してヒーター部分が地に着くように置いてください。

2. 本体下部をお手入れする

付属のおそうじブラシやお手持ちのスポンジなどを使って、必ずきれいに洗ってください。

- 水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、ポットに水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを入れ、本体を調理時のようにセットし、10分程度（本体上部に水分がかからないよう注意して）浸してから洗うと効果的です。
- 金属たわしは、ヒーターのセラミック塗装をはがしてしまうため、絶対使用しないでください。
- 樹脂部に色素の強い食材により着色汚れをすることがあります。完全にとれないことがありますますが使用上問題ありません。



ヒーターまわりのお手入れ

正しくお使いになっていても、多少のこげや変色は発生します。市販のメラミンスポンジなどでこすり落としてください。そのときブレードに手が直接触れないように、十分注意してください。

⚠️ 注意

- 本体上部に水がかからないように注意する。故障の原因となります。
- ブレードには直接触れない。扱いには十分注意する。直接触れると、けがの原因になります。また固いものにぶつかけたりすると、切れにくくなり、調理に影響します。ブレードのお手入れには、付属のおそうじブラシを使ってください。

3. ポットをお手入れする

水またはお湯で食器用洗剤を薄めたものを使って洗ってください。

4. 本体上部をお手入れする

ぬるま湯か食器用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。

- 強くこすらないでください。傷がつくおそれがあります。
- 樹脂部に色素の強い食材により着色汚れをすることがあります。完全にとれないことがあります。使用上問題ありません。

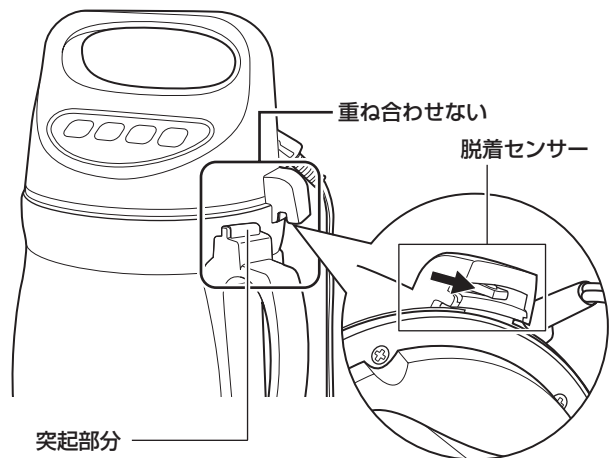
※電源コード付近を水にぬらさないでください。感電・ショートの原因になります。

保存のしかた

- お手入れのあと、完全に乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- ポットに本体をのせて収納するときはポットの突起部分を、本体の脱着センサーの溝に重ね合わせない状態で保存してください。

廃棄のしかた

廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従って適切に処分してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
準備		
本体をポットに取り付けることができない	• 食材の量が多い	ポット内部の「ここまで」線を超えないように調節する
	• 食材の大きさが大きい	食材は葉もの3cm幅、固形物1cm角よりも小さく切って入れる
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない、または完全に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	• 長時間連続で使い続けている	安全装置がはたらいているため、電源プラグをコンセントからはずし、ポットから本体を離し、30分以上おいてから使用してみる
	• 脱着センサーがはずれている	本体の脱着センサー部分とポットの突起部分をきちんとセットする
ブザー音が鳴り止まない	• ポット内の食材の量が少ない	「ここから」線以上になるように食材を増やす
	• ポット内の食材の量が多い	「ここまで」線を超えないように食材を減らす
	• 食材が固形物が多くて、空だき防止センサーが反応してしまっている	「ここまで」線を超えないように、液体の量を増やすなど、食材の入れかたを調節してみる
調理中		
かくはんの動きがしない	• 調理しにくい材料を入れている	調理しにくい材料は別に調理して本製品では調理しない
かくはんの動きにあわせて注ぎ口から水滴がもれ出る	• 食材の量が「ここまで」線を超えて入れている	食材の量を「ここまで」線を超えないように減らす
	• 水のみを入れて作動させた	ふきんなどを敷いてください。(かくはん効果を上げるため、強い対流を起こす構造になっています。そのため水のみを入れて作動させると注ぎ口から水滴がもれます)
温まらない	• (☞)スムージーボタンを押した	他のボタンを押して調理する (☞)スムージーはヒーターを稼働させず、かくはん機能のみのモードです)
温まるのに時間がかかる	• ヒーターが汚れている	ヒーターをお手入れする
ふきこぼれる	• 食材の量が「ここまで」線を超えて入れている	食材の量を「ここまで」線を超えない程度に減らす
	• あくが多く出る野菜を入れている	あくの多く出る野菜は、下ゆでしてから使用する
	• ふきこぼれ防止センサーが汚れている	ふきこぼれ防止センサーをお手入れする

症状	主な原因	処置
動作音がうるさい	・不安定なところで使用している	安定した水平なところで使用する
	・固い食材を入れている	下ごしらえをしてやわらかくしておく
	・ブレードに食材がからまって切れが悪くなっている	からまっている食材をとりのぞく
以前に調理したときよりも調理時間が長い／短い	・食材の種類や量、まわりの温度や水温の違いで時間は変化する	故障ではありません
調理結果		
☑ スムージーで葉が残る	・食材が大きすぎる	葉ものは3cm幅以内、固形物は1cm角以内に切り、ポットに入れてください
	・運転量が足りない	☑ スムージーモードを再運転し、好みのなめらかさになるまで繰り返す (☑ スムージー以外は再運転しない)
☑ スムージーのできあがりがあたたかい	・☑ スムージーモードでかくはんの回数が多くなると熱が発生することがある	故障ではありません (冷蔵庫で冷やすなどして、好みの温度でお召し上がりください)
ヒーターがこげる	・多少のこげは、通常の使用でも発生します	故障ではありません
	・牛乳や生クリームなど乳製品を調理している	乳製品の量が水に対して1:3以下になるように調整してください
食材が大きすぎる	・固い食材（人参など）を多く入れた	なるべく細かくカットしておくか、前もって電子レンジで加熱するなど、下ごしらえしておく

長年ご使用のスープメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシャサービスセンターに点検をご相談ください。